

請 願 文 書 表

請 願 番 号	請 願 第 7 号	付託委員会	市民福祉常任委員会
請 願 年 月 日	令和5年(2023年)2月28日		
件 名	黒字を積み立てた7億円を活用し、コロナ禍・物価高対策として 国民健康保険料引下げを求める請願		
請 願 者	枚方市北中振1-21-4 国保制度を良くする会 代表者 勝原和久氏		
紹 介 議 員	広瀬ひとみ 堤幸子		
請 願 要 旨	<p>国民健康保険法は第一条に「この法律は、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もつて社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする」と明記されている社会保障制度です。さらには今般のコロナ禍と物価高で一番影響を受けている人たちが加入しており、まさに困難な人たちが加入する医療保険のセーフティーネットです。</p> <p>しかし、2024年度に統一国保にするという目的のために2018年度以降、国民健康保険料は上がり続け、大阪社会保障推進協議会試算では2018年度と比較し、所得ゼロの4人世帯(40歳代夫婦と小学生、中学生)の国民健康保険料は18.6%もの値上げとなっています。中央社会保障推進協議会が実施した全国大都市国保料調査によると、大阪府統一国保料は全国一高い金額となっています。</p> <p>1月6日の令和4年度第3回大阪府市町村国民健康保険主管課長会議において来年度の統一保険料率が出されましたが、府平均で1人当たり保険料が16万2,417円(2022年度14万7,786円)で1万4,631円と9.9%アップ。枚方市でも、1人当たりの保険料は16万3,597円(2022年度14万9,420円)で1万4,177円と約9.4%アップの信じ難い金額となっています。</p> <p>困窮世帯にとっては数か月分の米代に匹敵し、まさに「国民健康保険料を支払うためにご飯が食べられない」、「国保が貧困をつくり出す」事態となるのは必至です。今必要なのは、コロナ禍・物価高対策としての国民健康保険料引下げです。</p> <p>つきましては、以下のように請願いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ禍・物価高対策として2023年度国民健康保険料の引下げを行うこと。 2. 統一国保ありきで大阪府民・市町村民を置き去りにする方針を撤回するよう大阪府に意見を上げること。 3. 精神・結核医療給付についても、継続するよう大阪府に意見を上げること。 		